

苅田町の色と風景を写し取る

写真家・松田さんの集大成

松田 田さんは苅田町に住む昭和12年生まれの88歳。今回、写真展を開催することになりました。この写真展は、松田さんが長年撮り続けてきた作品の集大成とも言える特別な展示です。

松田さんがカメラを手にしたのは40歳のころ。当時、写真の知識はまったくのゼロでしたが、独学で技術を習得し、少しずつ腕を磨いていきました。「旅先や身近な苅田町で出会った感動の瞬間を逃さず

に収める、それが写真の一番の楽しみです」と語るその表情は、まるで少年のように輝いていました。その後、旅行好きも重なり、松田さんはこれまでに南極大陸をはじめ、63か国以上を訪問。異国の文化や風景を通して、数々の感動的な瞬間を写真に収めてきました。



朝日が昇る新北九州空港連絡橋



等覚寺で撮影したアサギマダラ



松田博文さん

写真と旅行を愛する88歳の写真家。これまで写真集を3冊作成。苅田町の瞬間の美しさを撮影した写真を町に多く寄贈。

に題名にも注目しながら楽しんでいただきたいと思います。

写真展は、9月5日から9月15日までコスメイト行橋で開催されます。この機会に松田さんの集大成となる写真の世界をぜひご堪能ください。

松田 博文 写真展

日時／ 9月5日(金)～15日(日)
9:00～17:00
場所／ コスメイト行橋 企画展示室
入場／ 無料
問い合わせ／ 松田博文
☎ 090・3410・6330

苅田 田町に暮らすグエン・ヴァン・バンさん（33歳）は、心温まる町の人々との出会いを通じて、この地で新たな家族のような絆を築きながら、未来への希望を育んでいます。

慣れない土地での生活には、もちろん不安もあったバンさん。当時、日本語があまり話せなかったことや、交代勤務で忙しかったこともあり、同郷の仲間たちとも会えない日々が続きました。そんな中、大きな転機となったのが、会社の忘年会で訪れた町内のお店での出来事です。

そこで出会ったのが、後に「日本のお父さん、お母さん」と呼べるようになるご夫婦でした。このご夫婦は、異国の地で不安を抱えていたバンさんの生活を親身になって支えてくれました。バンさんが働く間、子どもたちの面倒を見てくれたり、家族で旅行に連れて行ってくれたり、まるで本当の家族のように温かく接してくれたのです。

3月に開催された「わたしのきもち日本語発表会」で、バン

グエン ヴァン バンさん

ベトナム出身で来日10年目。町主催の「わたしのきもち」日本語発表会で区長連合会長賞を受賞。

苅田町に住む 2 人の物語

特集



日本の両親と呼ぶご夫婦と

います。休日には町内の公園を散歩したり、買い物をしたり、時間を楽しんでいます。また、日本料

さんはこのご夫婦への感謝をこう語っています。「日本は世界で一番素晴らしい国です。分からないことがあったら優しく詳しく教えてくれます。家の隣にいる日本のお父さんとお母さんは、いつもお世話になって感謝しています。苅田の人も誰でも親切で優しいです。そのため、私もみんなと仲良くなるように頑張っています。前感じていた不安はいつの間にかなくなっていました」。現在、バンさんは妻と2人の子どもと苅田町で幸せな家庭を築いています。



妻と子どもたち

理が大好きなバンさん一家は、普段から日本の調味料を使い、食卓には日本の味が欠かせません。そんなバンさんの将来の夢は、永住権を取得し、苅田町に家を購入することです。「苅田町は非常に便利で住みやすい町」と語るバンさん。彼の物語は、苅田町が持つ人と人との温かなつながりを教えてくれました。

多文化共生交流イベント
ワールド文化祭
(スポーツ大会)
日時／ 11月23日(日)
13:00～16:00
場所／ 苅田町総合体育館
問い合わせ／ 総務課人権男女共同参画室
☎ 093・434・1958

苅田町で育む家族の絆と未来の夢

出会いが変えた暮らし